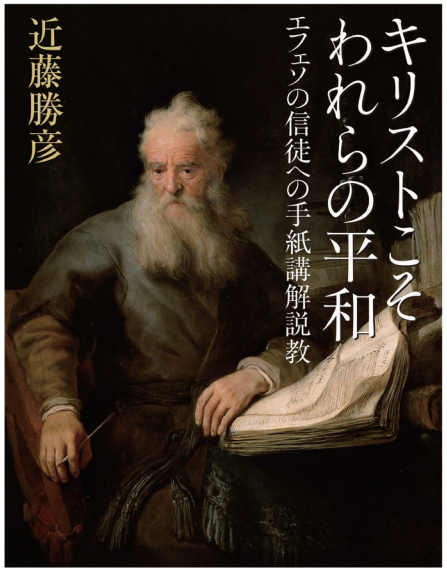
キリストこそわれらの平和

エフェソの信徒への手紙講解説教

近藤勝彦❖著



主イエスの十字架による「平和の福音」を告げる！

弱体化していると見られるキリスト教会を、神の絶大な力によって強くし、世にある戦いの中で愛と平和に生かす、慰めと励ましのメッセージ。

本書に収録されているエフェソ書の説教は、著者の主著『キリスト教教義学』（上下巻）の執筆と並行して準備されたものであり、著者の神学的主張を理解する上でも貴重な説教集。

❖著者紹介　近藤勝彦（こんどう・かつひこ）　1943年東京生まれ。東京大学文学部卒業、東京神学大学大学院修士課程修了。神学博士（チュービンゲン大学）。東京神学大学教授、学長、理事長を経て、現在は名誉教授。日本基督教団銀座教会協力牧師。
著書　『キリスト教教義学（上・下）』『キリスト教倫理学』『キリスト教弁証学』『啓示と三位一体』『贖罪論とその周辺』『救済史と終末論』『伝道の神学』『デモクラシーの神学思想』『キリスト教の世界政策』『二十世紀の主要な神学者たち』『わたしの神学六十年』ほか多数。

B6判・並製・242頁・定価2,200円（本体2,000円+税）　ISBN978-4-7642-6468-7　C0016